

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		にじのとびら				公表日		令和8年3月15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3	・体育館や系列店舗を借りて走れる時間を確保しています。 ・状況によっては別室を使用しています。	法令を遵守したスペースを確保しているが、小学生には若干足りていない為収納スペースを上手く利用したり必要最低限の物しか置かない工夫を今後も継続して行います			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・児童指導員や指導員を常時4人以上配置しています				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	6		バリアフリーが必要な児童がいない為、今は検討していないが必要に応じて対応していきます			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		支援開始前と後で清掃や消毒を実施しています				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	個別の部屋を用意し、使用していますが物の配置の工夫は必要です				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		・月に2回のミーティング時に職員全員で振り返り、改善を話し合っています				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			毎年実施しているアンケート調査の結果を基に業務改善や保護者等の意見を考慮しています			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・月に2回のミーティング時に職員全員で振り返り、改善を話し合っています				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		第三者による外部評価は行っていません			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・事業所内研修を月1回行っています ・外部研修にも開催のお知らせがあれば意欲的に参加しています	外部研修の内容は職員で共有し、実践しています			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		・アセスメント、モニタリングを行い保護者からの意見や要望を把握した上で計画を立てています				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		支援計画については職員間でも意見をだしながら内容を決めています				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			標準化されたアセスメントシートを使用しつつ、さらに深く盛り込めるよう検討していきます			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・ミーティング時では一人一人に意見を求め、話し合いプログラムや支援の仕方、活動の進め方等共通の目標を持って取り組む事を目指しています				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・職員全員から案を出してもらうなど、固定化しない様にしています ・様々な季節に沿った取り組みを考え、無理のないように実行しています	今後も保護者や利用児童のニーズに合わせた行事を計画していきます			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	・集団療育が基本ですが、状況により個別支援も実施しています。また、その子にあった目標を設定して、計画を作成しています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			連絡事項、当日の予定などをその日の支援開始前に確認し合っています
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			支援終了後に良かった点や反省点など話し合っています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・支援経過記録の記入の仕方に関する研修などを行い、第三者にも伝わりやすいよう記録をとっています	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・中間評価の時期や個別支援計画の更新の時期に必ず実施しています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			自立支援と日常生活の充実の為の活動、創作活動、余暇の提供を組み合わせています
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	・児童発達支援管理責任者や児童担当者が参加しています ・会議の内容は全職員で共有します	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	・送迎に行った際は担任の先生と一緒にきてくれる学校には必ずその日のその子の様子を聞き、変わったことがなかったか確認するようにしています	学校との情報共有に関しては、各学校の数量に差がありまだまだ保護者からの情報が頼りである状態です。その日の学校の様子等を聞けるように日頃から教諭との関係づくりに努めています
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3	該当する児童がいなかったため、評価はできないが、情報共有の準備は出来ています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3		利用に際しての記録が保管されているので要望があれば保護者に確認した上で提供できる体制を整えています
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2	・こども通園センターおおぞら園の主催する研修会があれば参加しています。その他、市の主催する研修会があれば参加するよう心掛けています	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5		公園や外出行事を通して交流する機会を作っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3	・苫小牧地域児童通所支援事業所連絡協議会の会議に参加し、内容を職員で共有していきます	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		帰りの送迎時や、必要に応じて電話や面談にて情報交換を行っています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4	・今後も面談や相談は必要に応じて行っています	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・事業所内に掲示しています。契約を結ぶ際に説明をしていますが質問や不明な点があれば都度説明をしています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。				保護者を含む利用者それぞれが話しやすい環境を整え、定期的に面談やモニタリングで意向を聞く機会を作っています
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。			支援計画の案で細かく説明し、中間などで見直しも行っていきます	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		保護者の方々が悩みや相談を打ち明けられるように普段から保護者の方々との関係性を築くよう努めています	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	6		各家庭の事情を考慮し保護者会は設けていませんが、定期的に開放日を設定し、保護者や職員との交流の機会を作っていきます
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			苦情受付、解決へ向けた流れについて「重要事項説明書」に記載し、契約の際に説明を行っています。またマニュアルに沿って迅速に対応しています
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			・年間行事予定表や月1回の通信、報告書、ブログを発行し、保護者にお知らせをしています
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・個人情報保護法に基づいて管理しています	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8		施設の規模の関係上、招待することができていませんが、地域のイベントや行事には積極的に参加していきたいと考えています
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		・職員には周知していますが、保護者への周知が不十分な為、現在ホームページで公開しています	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			避難訓練を行う際は通信や連絡帳、送迎時などで保護者にお知らせをし、年に2回以上は実施しています
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		契約時と年度毎に確認にしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		・アレルギーがある子どもの保護者から指示書のコピーの提供をお願いをしています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・毎月作成し、全職員で共有しています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・外部の研修には極力参加し、毎月のミーティングで対策等を職員間でを行っています	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		・やむを得ず身体拘束を行う時には条件を決め、保護者の方に説明し了承を得るようにしています。現在対象の児童はいないが個別支援計画に記載をしています		